

# CSRレポート 2019

## 目次

1	CSRへの取組	- 1 -
2	CSRレポート2019 編集方針	- 2 -
3	事業活動を通じた取組	- 3 -
3.1	社会に貢献する情報システムの提供	- 3 -
3.2	農林業の課題解決に向けた取組み	- 4 -
4	環境問題への取組	- 5 -
4.1	環境経営指針の制定	- 5 -
4.2	環境経営への取組	- 5 -
5	社会貢献・地域貢献への取組	- 6 -
5.1	社会貢献	- 6 -
5.2	地域貢献	- 7 -
6	働きやすい職場環境の実現への取組	- 8 -
6.1	ワークライフバランスへの取組	- 8 -
6.2	心身の健康保持への取組	- 8 -
6.3	衛生推進体制	- 9 -
6.4	クラブ活動の支援	- 10 -
7	企業価値向上につながる取組	- 11 -
7.1	コーポレート・ガバナンス体制	- 11 -
7.2	従業員への啓発	- 11 -
7.3	認証取得	- 11 -

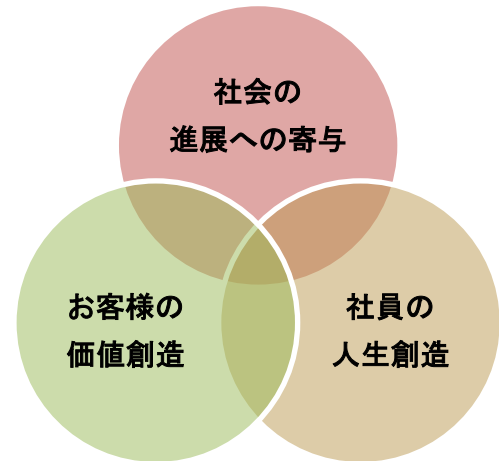
## 1 CSRへの取組

当社は、昭和 41 年 9 月に創立し、昭和 58 年に企業理念である 3 つの社是を定めました。

この企業理念の実践により、優れた製品やサービスを提供し、顧客満足度の向上を追求し続けるとともに、事業活動を通じた社会貢献や地域貢献、環境問題への取組、コンプライアンス順守、働きやすい職場作りなどの CSR 活動を、全社一丸となって、積極的に推進しています。

今までも、そしてこれからも、地域社会の一員としての責任を果たしてまいります。

社是	
「アイシーエスは、 信頼と奉仕を旨とし、 常に技術の研鑽につとめ、 すぐれた情報処理を通じ社会の進展に寄与する。」	
「アイシーエスは、 互いに相手を尊重し、協力し、 全員経営参加の意識をたかめ社業の発展をはかる。」	
「アイシーエスは、 仕事を通じて社員の生きがいをたかめ、 よりよい生活と価値ある人生の創造につとめる。」	



### 会社概要

■会社名	株式会社アイシーエス
■資本金	3,500 万円
■代表者	代表取締役社長 法貴 敬 (ほうき たかし)
■沿革	昭和 41 年 9 月 会社設立「株式会社岩手電子計算センター」 昭和 47 年 4 月 一関事業所開設 平成 7 年 8 月 秋田支店開設 平成 8 年 4 月 社名変更「株式会社アイシーエス」 平成 9 年 7 月 青森営業所開設 (平成 21 年 3 月より青森支店に名称変更) 平成 21 年 3 月 仙台支店開設 平成 29 年 12 月 経済産業省 地域未来牽引企業に選定
■社員数	558 人 (令和元年 7 月 1 日現在)
■売上高	1 0 0 億 4 千万円 (平成 30 年度) 9 5 億 3 千万円 (平成 29 年度) 1 1 1 億 3 千万円 (平成 28 年度)
■業務資格	情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証取得 (JQA-IM0157) 品質管理国際規格 ISO9001 認証取得 (JQA-QM3725) プライバシーマーク認定取得 (11820122) 電気通信事業者 一般建設業許可 (岩手県知事 許可 (般-25) 第 10135 号 種類: 電気通信工事業) 労働者派遣事業許可 (派 03-300101)
■メッセージ	昭和 41 年の設立以来、自治体や医療、流通など各分野の専門的な業務知識を活かし、地域における情報化社会の実現に貢献してまいりました。 分野特化したシステムインテグレーター、マルチベンダーとして多くの実績があり、きめ細かいアフターフォローを行う事業活動が特徴です。

## 2 CSRレポート2019 編集方針

本レポートは、当社が果たすべき CSR（企業の社会的責任）に関する考え方や活動をステークホルダーの皆様にご理解いただくために、毎年「CSR レポート」を発行しています。「CSR レポート 2019」では、下表の CSR 全体像に従い、事業活動、環境問題、社会貢献・地域貢献、働きやすい職場環境、企業価値向上に関する取組を紹介しています。



### 本レポートの報告対照範囲

対象組織：株式会社アイシーエスの全活動を対象としています。

対象期間：平成 30 年度（2018 年 4 月～2019 年 3 月）

※一部の項目については対象 期間外の内容も含まれます。

### 3 事業活動を通じた取組

当社は、1966年（昭和41年）の創立以来、自治体や医療、さらには流通など各分野の専門的な業務知識を活かし、地域における情報化社会の実現に貢献してまいりました。

「お客様に満足していただける品質の高い製品を開発し、自信を持って提供する」これを基本理念とし、お客様と固い信頼関係を有する企業を目指しております。

#### 3. 1 社会に貢献する情報システムの提供

創立以来培った、さまざまな分野の業務ノウハウを活かし、地域の皆様がより便利に、そして安心・安全に暮らせる社会の実現に貢献しています。

##### ■ 自治体（都道府県）向けソリューション

人々の生活を豊かにする行政施策に貢献します

行政分野での豊富な経験・実績をもとに課題解決のための最適なソリューションやシステムを提供し、行政施策の効率化・高度化をサポートします。

##### ■ 自治体（市町村）向けソリューション

全国150以上のお客様へ製品・サービスをご提供中

自治体クラウドやLGWAN-ASPサービスで、それぞれのお客様に最適な共同利用をご提供します。

##### ■ 医療機関向けソリューション

医療機関のICT化を総合的にプロデュース

電子カルテを中心に、ご満足頂けるソリューションときめ細かなアフターサービスをご提供し医療サービスの向上に貢献いたします。

##### ■ 企業・団体向けソリューション

業務に特化した技術者集団がお客様のニーズに対応

流通業向けソリューション、組込みソフト開発等、民需分野の開発経験豊富なSEがお客様のニーズにお応えします。

##### ■ 教育機関向けソリューション

学内システム全般をサポート

大学をはじめとする教育機関の教育研究システムや業務システムなど、学生・教員・職員にとって最適なソリューションをご提供します。

##### ■ アウトソーシング・クラウド型サービス

高品質・安心・安全なサービス

ビジネスプロセスアウトソーシング・クラウドサービスをご希望されるお客様に高品質なサービスをご提供します。

### 3. 2 農林業の課題解決に向けた取組み

ICT 技術やロボット技術の進歩により、農業や林業の分野においても様々な機器やシステムが導入され始めており、作業効率の改善や省力化、収量増などが期待されています。当社は、画像処理技術を用いてカメラに映った複数の野菜の大きさを瞬時に判別し、ロボットアームが自動で仕分けを行うシステムを搭載した野菜選別ロボットを構築し、平成 30 年 8 月 24 日、25 日に開催された「いわてスマート農業祭 NEO」に出展しました。



いわてスマート農業祭 NEO での野菜選別実演の様子

人工知能や画像処理、ロボット技術などによって、農林業が抱える様々な課題の解決に向けた提案を行い、地域経済の活性化につなげてまいりたいと考えております。

## 4 環境問題への取組

### 4. 1 環境経営指針の制定

当社では、環境経営指針の中で、基本理念と行動指針を定め、CO<sub>2</sub>排出削減などの具体的な行動計画に沿った活動をしています。

#### 基本理念

株式会社アイシーエスは環境問題への取組を社会的責務と認識し、持続可能な社会の実現に貢献します。

#### 行動指針

事業活動の全域で、省資源、省エネルギーの推進に努めます。  
環境方針を全従業員へ周知するとともに、環境管理教育および啓発に努めます。

### 4. 2 環境経営への取組

#### (1) 省資源・省エネ活動

平成 30 年は、以下の省資源・省エネ活動に継続して取り組みました。

- 最大電力需要量を随時モニタリングするデマンド監視装置の運用
- マシン室空調の室外機に水を散布し、冷却効率を向上
- クールビズの実施
- 照明の空室・不在時の消灯、OA 機器の省エネ設定の徹底
- ペーパーレス会議の推進

会社全体の CO<sub>2</sub>排出量は、平成 29 年と比較し 4.5%削減いたしました。その CO<sub>2</sub>削減量は約 32,566kg であり、1 世帯当たりの年間二酸化炭素排出量に換算（注 1）すると、約 7 世帯分に相当します。

（注 1）世帯当たりの年間二酸化炭素排出量 約 4,480Kg で換算

全国地球温暖化防止活動推進センター 家庭からの二酸化炭素排出量（2017 年度）より

#### (2) いわて地球環境にやさしい事業所認定

いわて地球環境にやさしい事業所認定は、地球温暖化対策の積極的な取組を広げていくことを目的として、CO<sub>2</sub>排出抑制のための措置を積極的に講じている事業所を岩手県が認定する制度です。

平成 20 年 1 月に当社の CO<sub>2</sub>排出抑制の取組を評価いただき、二つ星の認定を受けております。平成 28 年度に 3 度目の更新申請を行い継続認定されています。



## 5 社会貢献・地域貢献への取組

### 5. 1 社会貢献

#### (1) 献血サポーター

日本赤十字社の「献血推進キャンペーン」に毎年協力しています。年2回献血を実施するなど、献血サポーターの活動を通じて、今後も献血に協力していきます。

当社は全血献血での協力を実施しており、平成30年度は、48名が協力しました。



私たちは  
献血推進キャンペーンを  
応援しています。

#### (2) 修学支援

公益財団法人岩手育英奨学会では、岩手県内の経済的な理由で修学が困難な生徒に対し、学資の貸与その他、育英奨学上必要な支援を行っています。当社はこの活動に賛同し、公益財団法人岩手育英奨学会へ継続して協力しています。

#### (3) いわて産業人材奨学金返還支援制度

岩手県では平成28年度に、将来のものづくり産業を担うリーダーとなる高度技術人材の確保・定着を促進するため、いわて産業人材奨学金返還支援制度を制定しました。当社はこの制度に賛同し、登録企業として継続して協力しています。

#### (4) 三陸防災復興プロジェクト2019

岩手県沿岸部の13市町村を会場とする「三陸防災復興プロジェクト2019」が開催されます。当社はこのプロジェクトのオフィシャルスポンサーとして協力しました。

#### (5) 募金活動

歳末助け合い募金や使用済み切手の回収を行っています。募金や回収した切手の益金は、ボランティア団体を通じて福祉施設などに寄付されています。

#### (6) エコキャップ回収運動

エコキャップ回収運動は、使い終わったペットボトルのキャップを再生プラスチック原料として換金し、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。

平成30年は75Kg 32,250個のキャップを回収しました。この回収したキャップを焼却すると約236KgのCO<sub>2</sub>が発生しますが、このCO<sub>2</sub>発生を抑止することができました。



回収したペットボトルのキャップ



## 5. 2 地域貢献

### (1) 地域清掃活動

新入社員研修の一環として、社屋周辺の住宅地などの地域清掃活動を毎年行っています。

この清掃活動には新入社員以外の社員も参加し、きれいな街づくりを進めています。



社屋周囲の清掃活動の様子

### (2) 地域行事への参加

東北の代表的な祭りの盛岡さんさ踊りをはじめとした、さまざまな地域行事に積極的に参加し、地域の活性化を支援しています。

盛岡さんさ踊りは、昭和 53 年に第 1 回が開催され、毎年 8 月上旬に、町内、職場、学校など、さまざまな団体が参加し、多くの太鼓・笛・踊りの隊列が盛岡市の中心街をパレードします。当社は昭和 60 年より毎年参加しており、平成 30 年 8 月 1 日のパレードにおいて、新調した大太鼓の迫力のある音とともに笑顔で元気に踊りきり、優秀賞を受賞しました。



新調した大太鼓でパレードに参加（平成 30 年 8 月 1 日）

### (3) インターンシップ活動および会社訪問・体験学習等の支援

当社では、学生が企業の中で就業体験をして職業観を醸成するインターンシップ活動を支援しています。平成 30 年度は 6 名の学生が当社でインターンシップ体験をしています。

また、地域の学校から会社訪問の受け入れや、看護学生の地域看護学実習の受け入れも行っており、次世代を担う学生の育成にも積極的に取り組んでいます。

## 6 働きやすい職場環境の実現への取組

### 6. 1 ワークライフバランスへの取組

#### (1) 育児、介護

育児休業、介護休業に加え、子供が満3歳になるまで育児短時間勤務、介護短時間勤務、時間外勤務免除を取得することができます。また、小学校就学前まで子の看護休暇、介護休暇も取得でき、安心して働くことが出来る環境に取り組んでいます。

#### (2) 定時退社推進

当社は毎週水曜日および給与支給日を「ノー残業デー」としています。朝夕に呼びかけを行い、効率的な仕事の進め方を考え、社員にプライベートな時間を有意義に過ごしていただく取組を推進しています。

### 6. 2 心身の健康保持への取組

看護師が常駐する保健室を社内に設置しており、社員の健康や精神面のケアを行っています。また、健康増進のために、社内の喫煙場所を社屋外に分離して分煙を進め、社員が休息を取ることができるリフレッシュルームを設置しています。健康に関する身近な話題や生活のヒントを掲載した「ほけんだより」を月1回発行し社員の健康保持の啓発を行っています。

#### (1) ストレスチェック

働く人のメンタルヘルス不調の未然防止を主な目的としてストレスチェックを実施し、自らのストレスの状態に気づきを促し、セルフケアを推進しています。また、集団ごとに集計・分析をして職場におけるストレス要因を評価し、職場環境の改善につなげています。

#### (2) メンタルヘルスセミナー、産業医による健康講話

自らのメンタルヘルスの問題を認識し、メンタルヘルスを向上させるノウハウを習得し健康管理に役立てることを目的として、外部講師によるメンタルヘルスセミナーを隔年に開催しています。また、産業医による健康講話を毎年開催しています。平成30年度は「メタボリックドミノを倒すな！」と題してお話いただきました。

#### (3) インフルエンザ予防

職場におけるインフルエンザ集団感染を予防するとともに、家族間の罹患防止を目的として、全従業員に対してインフルエンザの予防接種を呼び掛けています。予防接種費用の会社負担など、従業員が予防接種を受けやすい環境を作っています。平成30年度は約9割の従業員が予防接種し、インフルエンザ罹患防止に役立っています。

#### (4) ウォーキングキャンペーン

社員の健康増進を図るため、各自が目標歩数を定めて歩くウォーキングキャンペーンを開催しています。平成 30 年度は 3 回開催し、延べ 122 名が参加しました。

#### (5) ウォーキングプログラム

平成 30 年度から前述のウォーキングキャンペーンと並行して、一年を通じて取り組むウォーキングプログラムを開始しました。ウォーキングプログラムは盛岡商工会議所様が推進する「健康経営支援プログラム」を活用し、歩数に応じて MORIO-J ポイントを社員に付与しています。付与された MORIO-J ポイントを地域のお店で利用することで地域の活性化、消費が促進されるとともに、社員のさらなる健康増進に寄与すると考えています。平成 30 年度は 55 名が参加しました。

#### (6) アイシーエス禁煙チャレンジデー

社員の禁煙啓発を進めるために毎年 5 月末に、社員が禁煙にチャレンジする日として「アイシーエス禁煙チャレンジデー」を設けています。

### 6. 3 衛生推進体制

当社では各職場からの代表による衛生委員会を設置し、職場環境や健康などについて月 1 回意見交換しています。事務室の空気環境（二酸化炭素濃度や湿度など）改善のための換気の推進や、快適な職場づくりのためのアンケート結果を基にした会社への意見書提出など、快適な職場作りを進めています。

平成 30 年度は、衛生委員会からの要望により社屋内喫煙室の廃止が実現しました。

#### 6. 4 クラブ活動の支援

社員の交流のために、クラブ活動・同好会活動の支援をしています。現在 14 のクラブ・同好会があり、職場対抗試合を通して地域のスポーツ交流に貢献しています。

平成 30 年度はカーリング部に所属する社員ペアが岩手県ミックスダブルスカーリング選手権大会で準優勝し、岩手県代表として東北大会に出場しました。また、男子 4 人制の部で東北大会出場、男女混合 4 人制の部で日本代表決定戦出場、日本シニアカーリング選手権大会出場など、昨年度に引き続き活躍しています。



岩手県ミックスダブルスカーリング選手権大会で準優勝

その他に、野球部・テニス部・登山同好会・ジョギング同好会・バスケット部・フットサル部・ボルダリング部・バトミントン愛好会・ガジェット研究所・自転車部・セキュリティ技術研究会・吹奏楽クラブ・剣道部が活動しています。

## 7 企業価値向上につながる取組

企業活動を通じて、社会の一員としての責任を果たしていくため、コンプライアンス（法令順守）および国際規格等の認証取得を推進し、企業価値の向上に努めています。

### 7. 1 コーポレート・ガバナンス体制

コーポレート・ガバナンスの充実は、企業価値を高めていくために重要な経営テーマの一つです。当社では、経営の迅速性、透明性、健全性を確保するよう継続的な取組をしています。当社のコーポレート・ガバナンスは、取締役・監査役制度を基本とし、社内では常務会や経営会議において意思決定がなされます。さらに、内部監査部門が、コンプライアンス維持と企業価値の向上を目指し定期的に監査を行っています。

### 7. 2 従業員への啓発

従業員のさまざまな意識向上を図るために、毎年全従業員に対して、コンプライアンスおよび情報セキュリティの啓発研修を行っています。

### 7. 3 認証取得

#### (1) ISO9001 認証（品質保証）

平成 11 年 9 月 10 日に一般財団法人日本品質保証機構から品質管理の国際規格である ISO（国際標準化機構）9001 の認証を取得しています。



JQA-QM3725

#### (2) ISO27001 認証（ISMS：情報セキュリティマネジメントシステム）

平成 16 年 4 月 2 日に一般財団法人日本品質保証機構から情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）適合性評価制度の認証を取得しています。



JQA-IM0157

#### (3) プライバシーマーク認証（個人情報保護）

平成 13 年 10 月 22 日に一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）から個人情報の取り扱いについて適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者に対し付与されるプライバシーマークの認定を受けています。



11820122

どの規格も社内全部署を対象とした認証となっています。このような認証の取得に満足することなく、お客様がより安心して業務を委託できるよう更なる改善に努めてまいります。



株式会社**アイシーエス**

<https://www.ics.co.jp/>

【お問い合わせ先】

企画営業統括本部 経営企画部

TEL:019-651-2626 FAX:019-651-2693

発行:令和元年7月